



静電浄油装置 OCM

OIL CONDITIONER & MONITOR



MODEL OCM-8000

フィルターでは除去できない汚れを解決するのが「OCM」です。

静電浄油装置OCMはエンジンオイルを除く鉱油系潤滑油・鉱油系作動油に適用できます。
火力原子力発電所において多数の導入実績を有しており、安定稼動が求められる様々な設備にご利用頂けます。

OCMは油中粒子が持つ電気的性質を利用した浄化システムを採用し、**100ミクロン以上の大きな粒子から0.1ミクロン以下の微小粒子まで**油中ゴミの大きさに左右されず高効率・高精度な浄化が可能です。

定検短縮

定期検査メニューの中で大きなウエイトを占めるフラッシング工程を短縮し、定検短縮と保全コスト軽減を同時に実現します。

信頼性向上

油圧トラブルの原因となる100 μ 以下の微小粒子を除去し、設備の信頼性を高め稼働率向上に貢献します。

コスト軽減

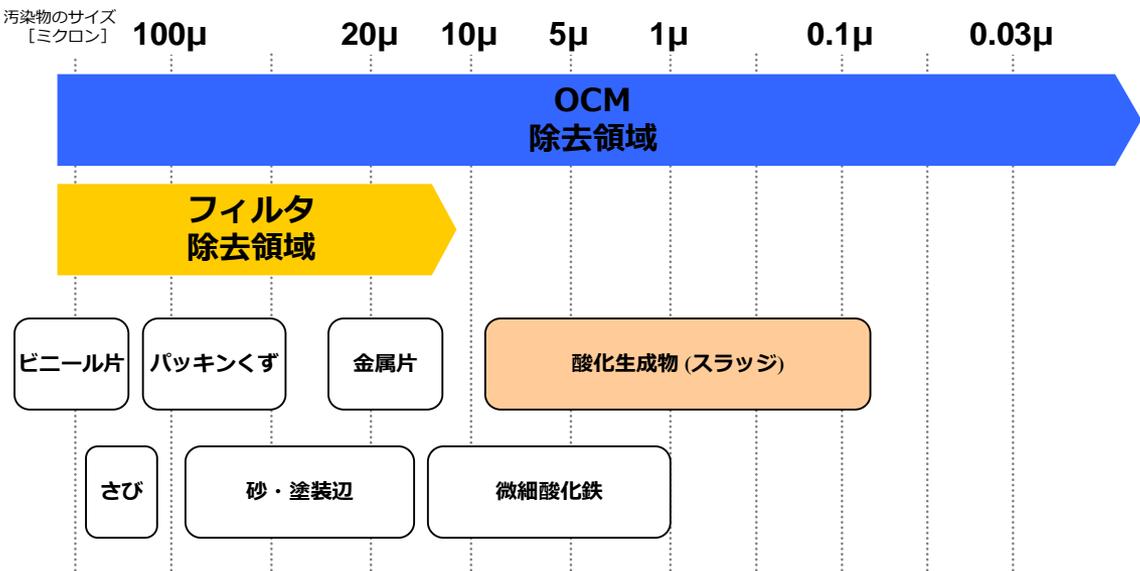
微小金属粉や酸化変質物(スラッジ)を除去することで油寿命を延長し、油交換コストの軽減だけでなく環境負荷低減にも貢献します。

OCMとフィルターの比較

≪性能比較≫

	OCM	フィルタ
送油量	△	○
対象油量	○	○
浄化精度	○	△
圧力抵抗	○	△
目詰まり	○	△
油帯電	○	△
導入コスト	△	○
運用コスト	○	△

≪除去領域比較≫



送油量だけで浄油装置の性能は計れません

浄化精度、除去効率、安全性、ランニングコストなど様々な要素を考慮して評価する必要があります。

OCMとフィルタでは内部抵抗が大きく異なります

フィルタは対象油量増加や浄化精度向上への対応として装置サイズが肥大化しますが、OCMは広い油流路を確保しつつ高い浄化精度を実現しており比較的小型のモデルで対応可能です。

OCM製品概要

タービン油向け浄化装置



静電浄油装置
OCM
OIL CONDITIONER & MONITOR

対象油種： 鉱油系作動油、 鉱油系潤滑油（エンジンオイルを除く）
水分500ppm以下（高水分油の場合は事前の除水が必要）

対象油量： 200～100,000 リットル（中～大油量）

除去対象： 異物粒子（酸性物質含む）

適用設備： タービン軸受潤滑油、 機械式油圧ガバナ作動油、 給水ポンプ軸受油
給水ポンプ軸受油、 その他

浄化性能： 汚染度 NAS-5級以上（浄化性能は諸条件により変化します）

●製品特徴

- 電気の利用して0.1 μ m以上の不溶解性粒子を除去
- 目詰まりしないカートリッジで大量のゴミを捕集可能
- 送油量の大きいモデルでも油を摩擦帯電させない高い安全性
- フィルタでは除去できない酸性物質（スラッジ）を除去可能
- 大油量ユニットへの適応力が高い
- 計数汚染度管理との相性が良い

製品ラインナップ

モデル名	対象油量 (ℓ)	送油量 (L/min)	接続口径 (A)	電源	外径寸法 (mm)	重量
OCM-1000	12,000	11.0	25	200/220V 三相	L800×W650×H1,140	150kg
OCM-2000	24,000	22.0	25	200/220V 三相	L1,140×W650×H1,140	250kg
OCM-4000	48,000	44.0	25	200/220V 三相	L1,300×W1,300×H1,140	400kg
OCM-6000	72,000	66.0	50	200/220V 三相	受注生産品	
OCM-8000	96,000	88.0	50	200/220V 三相	受注生産品 (約)L2,500×W1,200×H1,400	



OCM-8000



OCM-2000

全国の火力原子力発電所 における100件以上の 導入実績

原子力発電所（機械式ガバナ弁作動油）



タービン油の劣化生成物による機械式ガバナ弁動作不具合が発生していたが、**静電浄油装置 OCM**の常設運用により解消。

酸化安定度（RBOT）の低下が抑制され油寿命が延長。

設備健全性向上・油寿命延長

火力発電所（タービン軸受潤滑油）



定検時に9日間要していた系統フラッシングが、**静電浄油装置 OCM**の仮設運用により4日間で終了。

最終的な油清浄度がNAS5級に向上。

定検短縮・油品質向上

様々な設備・油種に対する知見を有し、
全国のユーザー様から高い評価を頂いています。